

SACLA供用開始に向けた 登録機関業務の状況について (案)

平成24年1月23日
財団法人高輝度光科学研究センター

登録機関業務の全体スケジュール(上期)

| | H23年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|--------------------------|---------------------|--------------------------------|-----------------|---------------------------------|--------------------|---------------------------------|
| 利用者選定業務 の主項目 | | | 委員会設計 ・委員の検討 | ★ 第1回 SACLA選定委員会 (8/5) | | ★ 第2回 SACLA選定委員会 (9/5) |
| | | | | | | 公募準備 |
| 利用支援業務 (情報支援) の主項目 | 利用者支援システム の内容検討 | ※利用(ユーザー登録・課題申請等の手続き)にかかるシステム | | | | |
| | | 利用者支援システムの設計・構築 | | | | |
| | | | | | | 調整準備 |
| | 電子刊行物(Web) の内容検討 | 電子刊行物(Web)の設計・構築 | | | 電子刊行物(Web)の発行・運用開始 | |
| | | 研修会・講習会・ワークショップ等の内容検討 | | | | |
| | | | | | | 順次開催・実施 |
| 利用支援業務 (技術支援) の主項目 | 支援要員の順次配置 | | | | | |
| | | 施設利用研究にかかる実験手法の開拓・調査研究の順次検討・実施 | | | | |

A. 利用者選定業務関係

1. 選定委員会

平成23年8月5日 第一回SACLA選定委員会開催

(議題:利用者選定の基準について、利用者選定に係る審査体制等について等)

平成23年9月5日 第二回SACLA選定委員会開催

(議題:利用研究課題の募集要項について等)

2. 利用者選定の基本方針等を決定

•審査基準を決定

- 研究手段としてのSACLAの必要性、安全性など
- 最先端の科学技術的価値、またはSACLA の新たな可能性の開拓に貢献する課題
- 学術的貢献度が高い課題、または今後の産業利用の推進に貢献する課題

•当面は、「重点戦略課題」と「一般課題」の2種類を年2回公募

(いずれも成果非専有のみ)

重点戦略課題:「生体分子の階層構造ダイナミクス」と

「ピコ・フェムト秒ダイナミクスイメージング」の2分野各5テーマ

3. 課題募集

10月6日 2012A利用期(平成24年3月～7月)の課題公募を開始
web等で公募開始を通知(公募×切を12月15日に設定)

- JASRIよりプレス発表。
- 日本放射光学会、日本中性子学会等25の関連学会・協会に公募を案内。
- Lightsource.org(放射光関係専門の国際的ポータルサイト)に掲載。
- SACLA利用に関するワークショップ(11/24 @播磨後述)を開催し、公募情報を提供。
(利用支援業務の項にて詳細報告)
- SACLA シンポジウム(12/3@東京)開催の際にも
公募情報を提供。

利用制度/募集案内

SACLA 利用案内

- 利用制度/募集案内
- 初めてご利用になる方へ
- 利用申請
- 案内/実験
- 実験後
- 各種情報

クリックリンク

- オンラインスマップ
- BL情報
- アクセス
- お天気/ライブカメラ
- サイト内無線LAN接続方法

2012A期におけるSACLA利用ホームページ利用研究課題の募集について

平成23年10月6日
登録施設利用促進機関
財団法人高輝度光科学研究センター (JASRI)

独立行政法人理化学研究所のX線自由電子レーザー施設SACLAの利用を平成24年3月より開始するにあたり、JASRI以下の書体でSACLA利用ホームページ利用研究課題の募集を行いますので、ご確認ください。

1. 募集する課題の種類

SACLAの利用研究課題は、重点研究課題と一般課題に分類されます。

| SACLA 利用研究課題の種類 | 課題の概要 |
|-----------------|--|
| 重点研究課題 | 成果の創出を確率的に高める観点から、国の方針等を踏まえた上でテーマを設定し、設定されたテーマによって公募する課題 ※詳細は重点研究課題のテーマをご覧ください。 |
| 一般課題 | 特定のテーマ等を設定せずに公募する課題(=重点研究課題以外の課題) |

なお、2012A期は、いずれの課題についても、成果を有せずに公開する期間を有する「成果非有利利用」のみの募集であり、成果を公開せずに有することが可能な「成果有利利用」の募集はありません。

また、これらの課題の有効期間は、当該2012A期のみとなります。

2. 応募資格

基本的には制限はありませんが、以下にご確認ください。

1. 海外の機関に所属する方

実験責任者としての応募が可能です。但し、コンタクト(バージョン)利用に係る手続きはJASRIからの問い合わせ等に打ち合わせ可能な方として、前掲募集要項に日本国内の機関に所属する方1名以上の署名を捺印する必要があります。適切なコンタクト(バージョン)が見当たらないような場合は、お問い合わせはご遠慮ください。

※海外の機関に所属する方、日本国内の機関に所属する方、SACLA利用の歴史や海外から集約される方

イベントカレンダー

12

カレンダーを見る

SACLA
afel.jlken.jp

SPRING-8
User Information

Webによる公募ページ →

4. 2012A期応募状況

申請総数：**55** 課題

●重点戦略課題：28 課題

うち、生体分子の階層構造ダイナミクス 11 課題

うち、ピコ・フェムト秒ダイナミクスイメージング 17 課題

●一般課題：27 課題

申請課題の実験責任者の所属分類

●大学等教育機関・国公立研究機関等 国内 42 課題 国外 12 課題

●産業界 国内 1 課題 国外なし

直近の利用者選定業務スケジュール

1月19日 SACLA利用研究課題審査委員会

1月24日 SACLA選定委員会

上記後 選定結果通知、利用日通知等

3月初旬～ 順次、利用開始

※実験責任者名、機関名、配分ビームタイム、利用分野等の公表は、ユーザーに通知後公表。

研究者のアイデアの保護のため課題名の公表は課題実施後。

B. 利用支援業務関係

1. 利用者支援システムの構築

ユーザー登録、課題申請から成果公表に至るまで、利用者に必要な手続を容易に行うためのシステムを構築し、運用中。

理研の技術情報ページとも相互リンクを図るなど、利用者の利便性に配慮。

The screenshot shows the SACLA User Information website. The header includes the SACLA logo and navigation links for HOME, RSS FEED, SETUP, ENGLISH, and JAPANESE. A search bar is present. The main content area features a large image of the SACLA facility. Below the image are three columns of information:

- SACLA 利用案内**: A list of links for users, including '利用制度/募集案内', '初めてご利用になる方へ', '利用申請', '東所/実験', '実験後', '退所時手続き', '報告書提出 (利用課題実験報告書)', '成果公表 (論文、特許)', and '各種情報'.
- お知らせ**: A news section with a date filter and an RSS icon. It contains several announcements, such as '2011/10/06 募集開始!! 2012A SACLA利用研究課題 (締め切りました)' and '2011/12/13 NEW 冬季の電力需給逼迫懸念に対する播磨地区の節電策について'.
- イベントカレンダー**: A calendar widget showing the current date as Thursday, December 12th.

At the bottom of the page, there is a 'クイックリンク' (Quick Links) section with links for 'キャンパスマップ', 'BL情報', 'アクセス', 'お天気/ライブカメラ', and 'サイト内無線LAN接続方法'. The footer contains a system status bar with the text 'インターネット | 保護モード: 無効' and a zoom level of 100%.

登録機関業務の状況

2. SACLA利用に関するワークショップの開催

SACLAの利用を検討している研究者等を対象に供用運転の概要、調整運転の進捗状況、ビームライン・実験装置の技術情報等を提供するとともに、実地見学を実施した。

日時: 11月24日 13:00～17:30

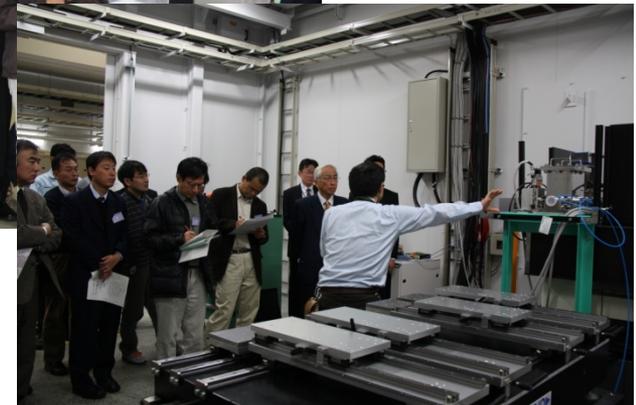
内容:

- ・供用運転の概要、調整運転の状況、装置の技術情報
- ・実地見学
- ・質疑応答

参加者: 104名(うち産業界から28名)

※参加者へのアンケート調査を実施(後述)

※1月11日にワークショップ講演をWeb(Youtube)にて公開



【アンケート調査結果】

発表内容・見学内容について

プログラム内容は概ね満足の見が多い。

主な意見

(有効だった点)

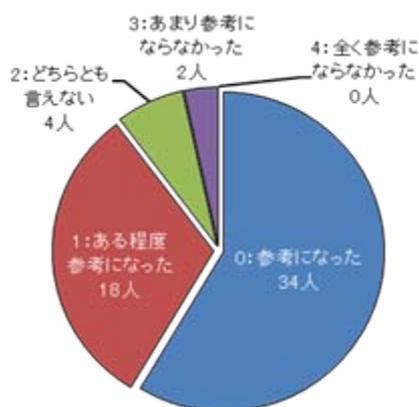
- 良い面・悪い面を含めて現状が分かった。
- 見学会が効果的であった。

(もっと聞きたかった点)

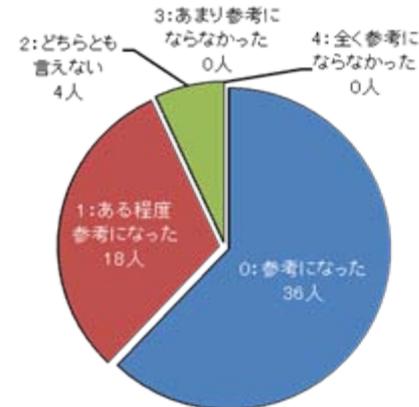
- 具体的な活用例について。
- 実験結果のイメージについて。

(その他)

- 東京や大阪での開催希望。

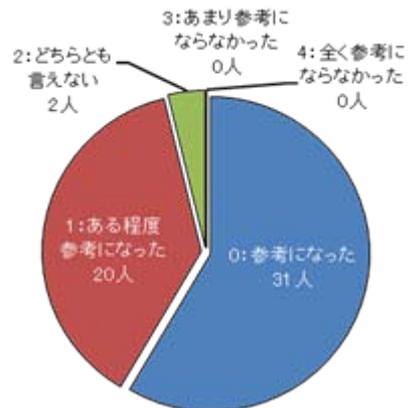
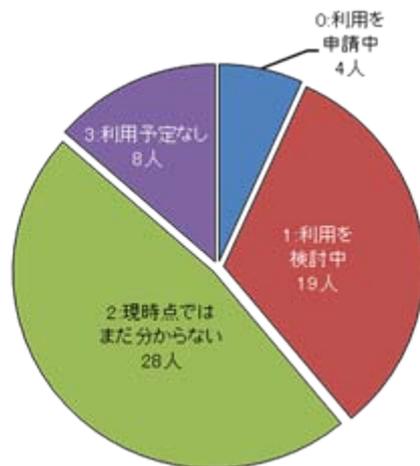


共用に関する概要説明 (n=58)

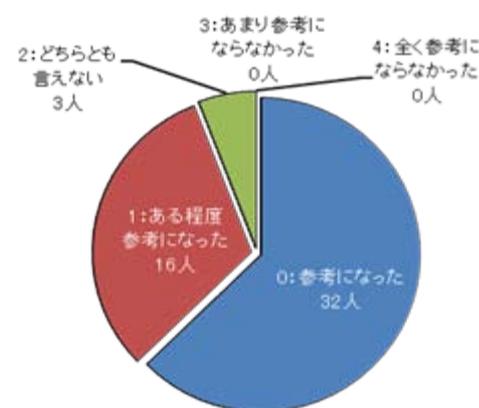


実地見学 (n=58)

SACLAの利用予定について



マシンの状況 (n=53)



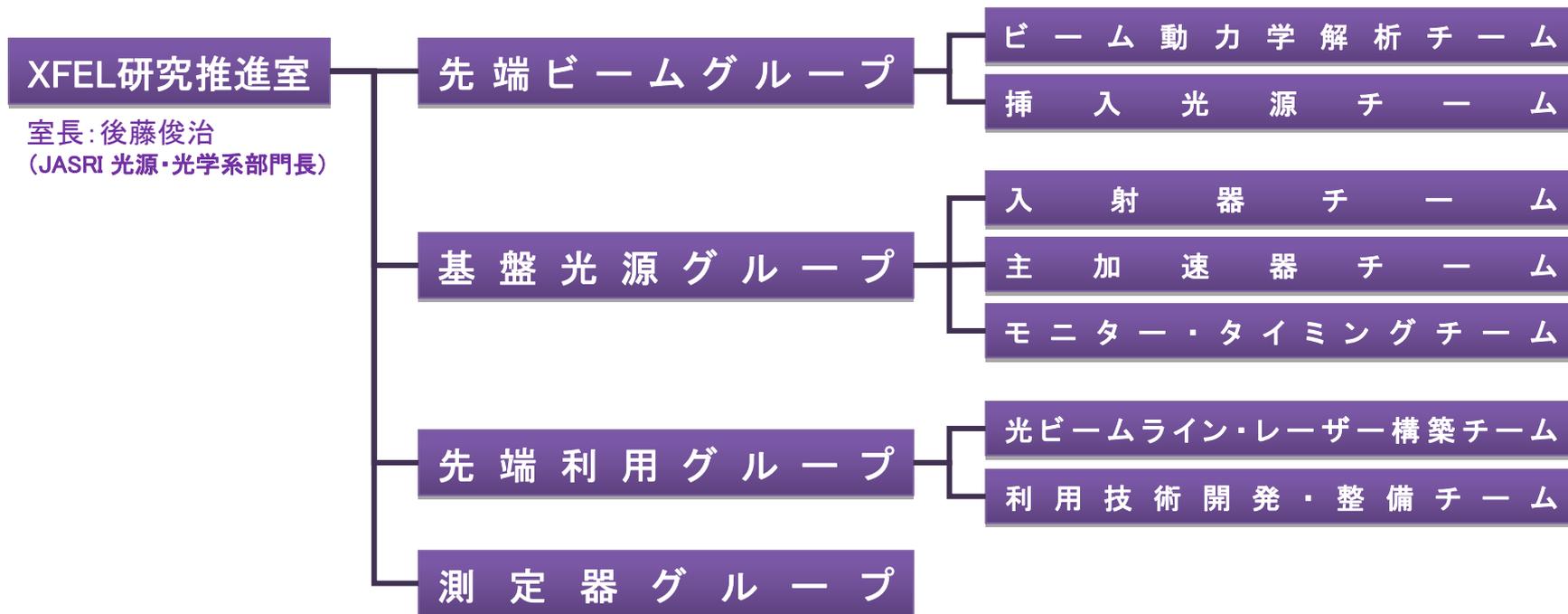
ビームラインおよび
実験ステーションの状況 (n=58)

各発表・見学についてのアンケート結果(選択式)

参加者の意見を踏まえたうえで、次回以降も積極的な情報発信を継続的に行う。

3. 技術支援

- 利用者に対する技術支援を、JASRIに設置しているXFEL研究推進室により実施。
- コーディネータ、研究員、ポスドクを精力的に公募し、支援要員を拡充。



- 施設利用研究の促進に資する手法の開発、技術支援に必要な知見を得るための調査研究に向けての準備を、XFEL研究推進室(JASRI)が中心となって実施中。今後は、登録機関による法第12条利用を活用しながら、支援のための手法開発・利用研究に努める。